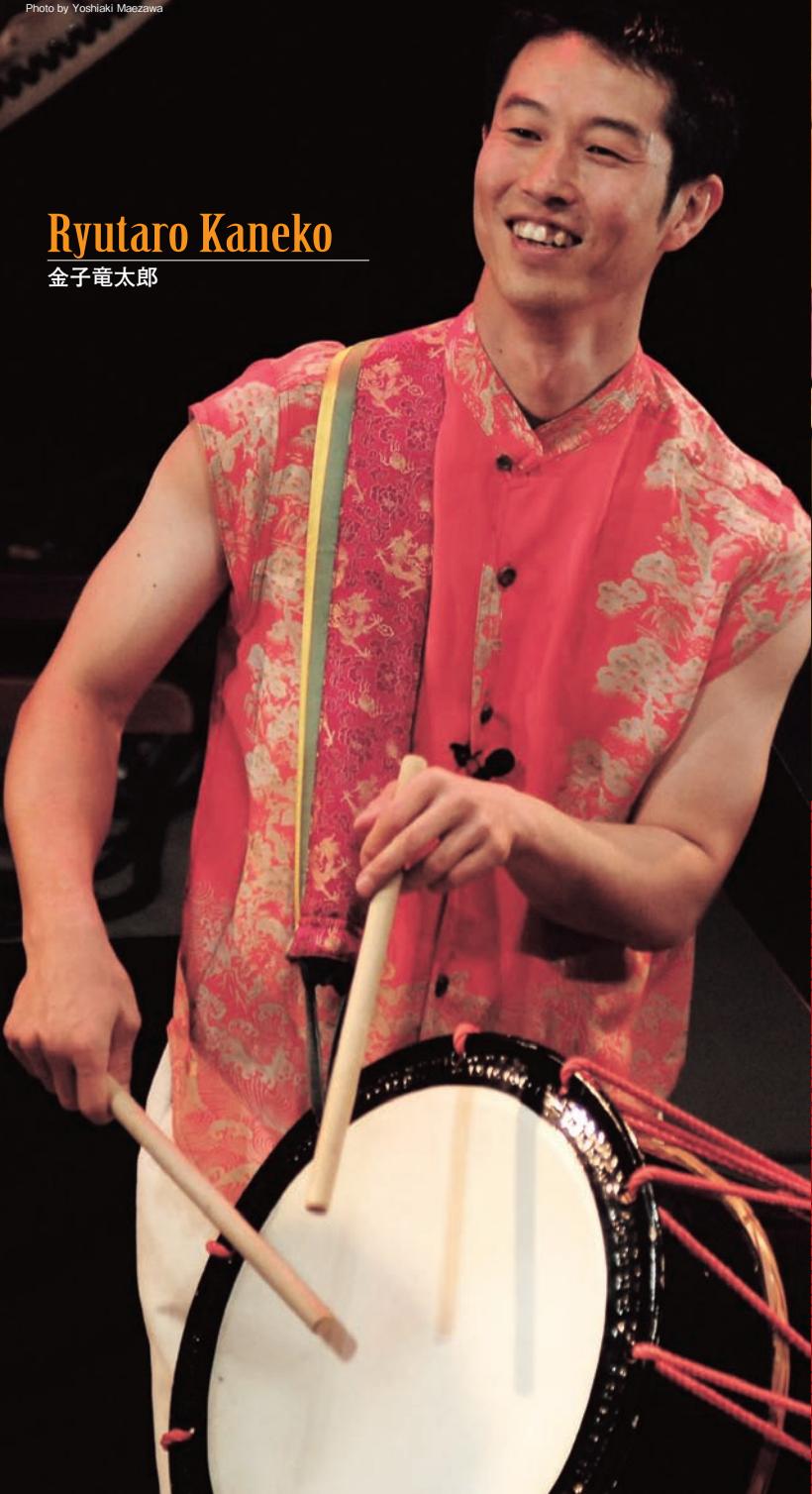


Photo by Yoshiaki Maezawa

Ryutaro Kaneko

金子竜太郎



Kazutoki Umezawa
梅津和時



Gen Ogimi
大儀見元



Haruhiko Saga
嵯峨治彦

サッポロ・ミュージック・セッション ART BOX 2007 インプログラム
SAPPORO MUSIC SESSION 2007

Ryu's beat

金子竜太郎(和太鼓、鳴り物)

梅津和時(サックス、クラリネットetc)／大儀見元(バーカッション)／嵯峨治彦(馬頭琴、のどうた)

●入場料[税込]／前売3000円(当日3500円)

●チケット取扱い／4プラブレイガイド、大丸ブレイガイド、ローソンチケット(Lコード:12157)、チケットぴあ(Pコード:266-571)

主催／財団法人札幌市芸術文化財団、北海道新聞社 後援／札幌市、札幌市教育委員会 協力／JAL

お問い合わせ／ART BOX 2007事務局(札幌芸術の森 事業課内)

〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75 TEL:011-592-4125

(音楽監督:金子竜太郎)



平成19年度文化庁芸術拠点形成事業

サッポロ・ミュージック・セッション ART BOX 2007 インプログラム SAPPORO MUSIC SESSION 2007

札幌芸術の森野外ステージを仮設劇場とし、様々な公演を行うART BOX。

サッポロ・ミュージック・セッションは、ART BOXを舞台に金子竜太郎を中心としたユニットRyu's beatによるこの日限りのセッション。

今回のRyu's beatのメンバーは和太鼓奏者 金子竜太郎、サックスプレーヤー 梅津和時、パーカッショニスト 大儀見元、馬頭琴&のどうた 嵐城治彦という豪華な顔ぶれ。
彼らの奏でるサウンド、パワーを感じてください。

Ryu's beat



撮影：前澤良彰

Ryutaro Kaneko

金子竜太郎

1987年、和太鼓集団「鼓童」の奏者としてデビュー。2007年独立。鼓童在籍中は、中心的プレイヤーとして世界32ヶ国での演奏、及び作曲、編曲、音楽監督、演出も手掛ける。

1996年よりソロ活動も開始し、力強さばかりでなく繊細さや豊かさなど、和太鼓の概念を覆す多彩なリズムとサウンドを追求。ジャズ、ロック、ワールドミュージック、邦楽、ダンス、水墨画などジャンルを超えたアーティストとのセッションを多数行なっている。

2000年、自身のユニット“Aguri(あぐり)”を結成。EPO(唄、ヴォイス)、嵯峨治彦(馬頭琴、のどうた)とともに、斬新かつ親しみやすい音楽を創造し続けている。また、伝統的には単なる伴奏楽器であったチャッパ(日本の小型シンバル)で、1988年からオリジナル奏法を編み出し、自らデザインした楽器での演奏スタイルは、和太鼓アンサンブルに革新をもたらした。

ワークショップにおいては技術的ワークのみならず、たたく本人の心身にアプローチすることにより、めざましい音の変化を体験することができる。一般向け、さらには太鼓グループやプロのミュージシャン、ダンサー、俳優、音楽教師なども対象にし、国内外もとより海外でも高い評価を得ている。



Kazutoki Umezawa

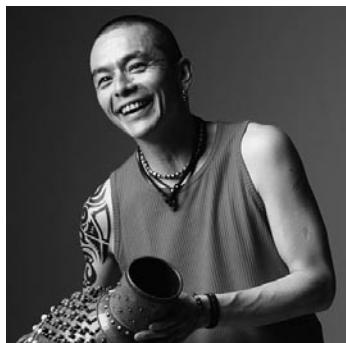
梅津 和時

サックス、クラリネット奏者。

国立音楽大学在学中よりデビュー。70年代より生活向上委員会、D.U.B.(ドクトル梅津バンド)の先鋭的な活動でジャズシーンを賑わせる。同時にRCサクセションでは日本におけるROCKサックスの分野を開拓するなど、常に先導的な役割を果たしてきた。またコンテンポラリーダンスや舞蹈、詩、美術など異種コラボレーションも多数。その卓越した技術とセンスにより、海外でも「リード楽器を自在に操る稀有なインプロヴァイザー」として高く評価されている。

現在、主宰するグループにKIKI BAND、こまっちゃクレズマ、新大久保ジェントルメン等。忌野清志郎NICE MIDDLE & NEW BLUE DAY HORNSにもアレンジと演奏で参加するほか、Asa-Chang&ブルーハッツにも参加するなど多数のグループに関わる。また映画「河童」「銀河鉄道の夜」の音楽監督、映画「遠くの空に消えた」出演、CMのナレーションもこなすなど、多彩な才能を見せている。

最新アルバムは2007年5月発売のこまっちゃクレズマ+おおたが静流『すっぽんぽん』。さらに8月にはKIKI BANDでも新作『デマゴーグ』を発表するとともにオーストリー・ザルツブルグのジャズフェスに出演。続けて10月に欧州ツアーなど、旺盛な演奏活動を展開している。



撮影：星野俊

Gen Ogimi

大儀見 元

1984年、オルケスタ・デ・ラ・ルスを結成(91年脱退)。91~96年 NYに渡り Tito Nieves Band に参加等の活動を経て帰国後の97年、自らのリーダー・バンド SALSA SWINGOZAを結成。1st album 「Swin' Pa' Gozar」(2000年)、2nd album 「Swingozando ~Live at Crocodile」(2006年)を発表。今秋 3rd albumリリースとツアーを予定。プレイヤー活動は多方面に渡り、Dreams Come True、角松敏生、佐藤竹善、矢沢永吉、wyolica、bird、塩谷哲、葉加瀬太郎、菊地成孔、フラメンコ曾根崎心中、等の作品、ライブに参加している。

URL <http://www.coyote.co.jp/ogimi>



Haruhiko Saga

嵯峨 治彦

モンゴル伝統曲の演奏から異分野とのコラボレーションまで、伝統と革新の間を行き来しながら幅広い演奏活動を続ける馬頭琴・のどうた(ホーミー等)奏者。2001年、ゴビ砂漠の遊牧民馬頭琴奏者Y.ネルゲイ(モンゴル国人間文化財)から後継指名を受ける。等々力政彦とのアジア中央部民族音楽デュオ「タルバガン」は、1998年トゥバ共和国で開催されたユネスコ主催・第3回国際ののどうたコンテストにてゲスト部門優勝・総合準優勝。また、「のどうたの会」を主宰し、札幌を拠点に、コンサート企画・講演・執筆・ワークショップなどを通じてアジア中央部の音楽文化を広く紹介する活動にも取り組む。

アクセス・会場

会場／札幌芸術の森野外ステージART BOX(札幌市南区芸術の森2丁目75)

アクセス／地下鉄「真駒内」駅下車、中央バス2番のりばから滝川線・空沼線にて「芸術の森入口」下車。

※バスは午前10時より15分間隔で運行しております。

※お車でのご来場は駐車料金がかかります(普通車:¥500/1日、大型車:¥1,200/1日)

※会場内の録音・撮影及び飲食物(アルコール類含む)の持ち込みは禁止となっております。

※公演終了後、芸術の森センター前より地下鉄真駒内駅行きの臨時バスが運行します。

※当日は気温が低くなることが予想されますので暖かい格好でご来場下さい。